

宮城県と福島県に義援金を届けました。

現地では、復興に向けた様々な支援が必要です。

昨年は、東日本大震災の被災地のために何か出来ないかと思ひ、金剛駅やスーパードにて、義援金活動を行いました。また、大阪狭山市社会福祉協議会のボランティアバスに参加させていただきました。

大震災から1年以上経ち、この度被災地への視察旅行を決行いたしました。

四月三十日(月)に伊丹から仙台空港へ向かい、宮城県の各観光地を巡りました。海辺は、未だ瓦礫と建物がない状況で、渡船の方は「あなたが立っている港も仮設で、ようやく出来た」と大変な状況を話されました。

五月一日(火)に宮城県の河北新報社に義援金五十万円を届けました。その後、福島県に入り現地の方と合流しました。

五月二日(水) 福島県の現地の方の話では「観光客も激減し、放射線の過剰な反応に何とかならないか」と悩まれています。福島県の観光地も巡り、福島民報社に立ち寄り、五十万円の義援金を届けました。

五月三日(木)この日は大雨で、飛行機の運航も危ういとこでしたが、何とか大阪にたどり着きました。今回の視察で感じたことは、それぞれの立場で支援ができると思ひました。観光に行かれるのも現地の方々への支援の一つだと思ひます。

※今回、現地の被災されている写真は、撮っていません。



五月二日(水)福島県の福島民報社へ義援金を届ける。

【裏面へ続きます】

東日本大震災
義援金
民報厚生文化事業団

丸山高広さんが50万円「被災者のために役立ててもらいたい」と善意を寄せた。東日本大震災の被災地視察旅行の途中で、事業団事務局に届け

た!!写真!!

→福島民報五月三日(木)朝刊十四面にて

福島民報

2012(平成24)年
5月3日
木曜日
憲法記念日

発行所
福島民報社
福島市大田町13-17
(郵便番号960-8002)

電話代表 (024) 501-4111
編集46331-4119 広告46301-4150
本誌46331-4179 販売46321-4179

購読のお申し込み
0120-373437

義援金を届けました。

河北新報

5月12日(土)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28

(郵便番号 980-8660)

「東は未来」



電話 (022) 211-1447
 読者相談室 1447
 販売部 1127 編集部 1130 営業部 1318
 広告部 1132 総務部 1312 庶務部 1312
 生活文化部 1132 専任 1312
 総合案内 (022) 211-1111
 ご購読申し込みは
 0120-09-3746

河北新報社へ 義援金を寄託した皆さま

敬称略

- 七十七銀 康貴▽1万円 加藤紘▽17万8520円 日の本穀粉▽1万円 ピーデー子 アル▽5千円 齋藤田鶴
- ▽63000円 4エイブ チヨウカイ▽1万円 アベシヨウコ▽1万円 オキヨトコ▽12万円 カ) タケ シヨボウ▽5千円 カトウヒロアキ▽2千円 カレン▽1万円 クマガイシシ▽1万円 コバヤシケンジ▽1万円 サイトウチエコ▽2万円 スズキヒサコ▽1万円 タナカアキコ▽千円 ホシタカヒロ▽千円 ホシタカヒロ▽千円 ホシタカヒロ▽1万円 ヤマダエツコ▽55万円 ワタナベミユキ
- 仙台銀
- ▽5万円 アリモトマコト▽1万円 オバタタダシ▽千円 カスガヨシユキ▽2万円 ハマエミコ▽5万7200円 ヨコヤマタカシ
- ゆうちょ銀
- ▽10万円 井田つや子▽2万円 小野寺志郎▽1万円 藤本睦美▽2千円 赤間淳▽12500円 菅木

東日本大震災で亡くなった方々のうち、11日に新たに身元が判明した方は次の通り。
 (宮城県警の発表による。敬称略)

宮城県
 11日発表
 良徳(43)、平塚悦(58)、驚足一夫(63)
 △女川町 西城美代子(54)、鈴木由喜(81)、浜田

亡くなった東北の方々の日表
 万 円 みやぎ転妻ねごとわ 万 円 ミヤマ▽6千円 74
 く ぺるそなーじゅ▽30 年イタリア班有志



五月一日(火)宮城県の河北新報社へ義援金を届ける。

→河北新報五月十二日(土)朝刊十五面にて

最近の取り組み



狭山池まつりに、参加しました。毎年、丸ちゃん会で参加させていただいています。今年は、晴天となり、多くの方がまつりに参加されました。

民主党大阪府連青年委員会主催で勉強会を開き丸山たかひろが、講師として講義を行いました。当日は、多くの方々に出席していただきました。

市民協働先進事例の勉強会

青年委員会が主催して



報告する丸山高廣大阪狭山市議

政治スクール 5月19日スタート

第一講座は山口二郎教授

民主党大阪府連青年委員会は、第一部では丸山高廣大阪狭山市議が「大阪狭山市の市民協働」によるまちづくり活動について、第二部では柴谷民設大阪府議が「新しい公共、大阪府の取り組み」についてそれぞれ講師として発表した。

丸山市議からは大阪狭山市が取り組んでいる「新しいまちづくり制度」の目的、またコミュニティを基盤とした多様な活動の報告がなされた。また行政による支援内容や地域住民の自主的な活動に議員がどのように関わっていくかがこのからの課題だと報告した。

柴谷府議からは大阪府の「新しい公共」支援事業の現状について報告がなされた。その中で、大阪府下ではまだ「新しい公共」の制度そのものが浸透していない。今後はもっと官民が協働で物事を進められるように、仕組みや体制を構築していかなければならないと報告した。

また参加した議員からもそれぞれ地域における取り組みなどの報告、様々な質問、意見が出された。

民主党大阪府連は3月1日、総務委員会(中川治委員長)を開催し、第4期の政治スクールの具体化について原案をまとめた。すでにスクールの募集を開始しているが、この日は講座の日程や内容について相談した。

講座は5月19日に第一講座をスタートし、10月13日の第6講座までを予定している。

▽第1講座 5月19日
 ・開校式
 ・講義 山口二郎(北海道大学教授)「民主党政権と日本の将来」

▽第2講座 6月16日
 ・「民主党の歴史と大阪の政治史」
 ・「民主党の進める政策」

▽第3講座 7月21日
 ・「首長VS議員」 地方議会の現場から」

▽第4講座 8月18日
 ・講義 片山善博元総務大臣
 ・「地方自治と市民社会のゆくえ」

▽第5講座 9月15日
 ・「選挙当選までの実践的ノウハウ」

▽第6講座 10月20日
 ・「政治活動と選挙」
 ・開校式

※講座は原則として毎月第3土曜日の午後を予定しているが、変更になる場合もある。